

特別企画：茨城県内企業の対中国輸入動向

中国から輸入する茨城県内の企業は 161 社
～「卸売業」「製造業」で全体の約 8 割を占める～

調査結果（要旨）

1. 中華人民共和国（香港・マカオを除く）に進出し、製品などを輸入している茨城県内の企業は 161 社あることが判明した。都道府県別で最も多かったのは「東京都」で 6019 社、次いで「大阪府」3740 社、「愛知県」1381 社と続き、「茨城県」は全国で 19 位
2. 詳細が判明した茨城県内の企業約 50 社のうち、進出先で最も多かった都市は「上海市」と「大連市」で各 8 社。次いで「天津市」「廈門（アモイ）市」（各 4 社）、「青島市」（3 社）と続き、中国沿岸部に集中している。全国でも「上海市」がトップで 2010 社、次いで「大連市」の 741 社、「青島市」が 433 社、「蘇州市」が 426 社と続いた。なお、新型コロナウイルスの震源地である「武漢市」に進出する茨城県内の企業はなかった。
3. 業種別では「卸売業」が最も多い 62 社、「製造業」の 61 社と続き、上位 2 業種で全体の 8 割近くを占める。3 番目に多い「小売業」は 20 社で、墓石販売が半数以上占める。以下、「建設業」（9 社）、「サービス業」（7 社）、不動産業（2 社）と続き、自動車関連の素材から部品供給、食料品、墓石に至るまで幅広い業種が中国に進出している
4. 売上規模別では「1～10 億円未満」が 76 社と最も多く、「10～100 億円未満」が 40 社、「1 億円未満」が 38 社と続き、100 億円未満が 9 割以上を占める。なお、「100～1000 億円未満」は 6 社、「1000 億円以上」は 1 社であった
5. 中国国内では新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、交通網の遮断や従業員の出勤停止措置などが取られており、操業が完全に復旧するには長時間を要するとみられる。一方で、日本企業の多くが素材や部品供給を中国からの輸入に頼るなか、部品調達などで先行きに不安が広がっている。既に、自動車大手の日産自動車は中国からの部品供給寸断を理由に九州工場を停止する方針を打ち出すなど、中国での生産活動停滞による影響が及び始めた。特に、必要以上の在庫や設備を持たない中小企業では、中国からの供給網寸断による部品供給の遅延や不足による企業活動への影響は大手以上に深刻となる。今後、県内企業でも生産休止や閉鎖、流通量低下といった動きが出てくる可能性が高いと考えられる。

帝国データバンクが保有する企業概要データベース「COSMOS2」（2019 年 12 月時点、約 147 万社収録）と信用調査報告書ファイル「CCR」（約 180 万社収録）を基に、中華人民共和国（香港・マカオを除く）から製品などを輸入する茨城県内企業について調査を行った

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 水戸支店（情報担当：国分信一郎）

TEL 029-221-3717 FAX 029-232-0272